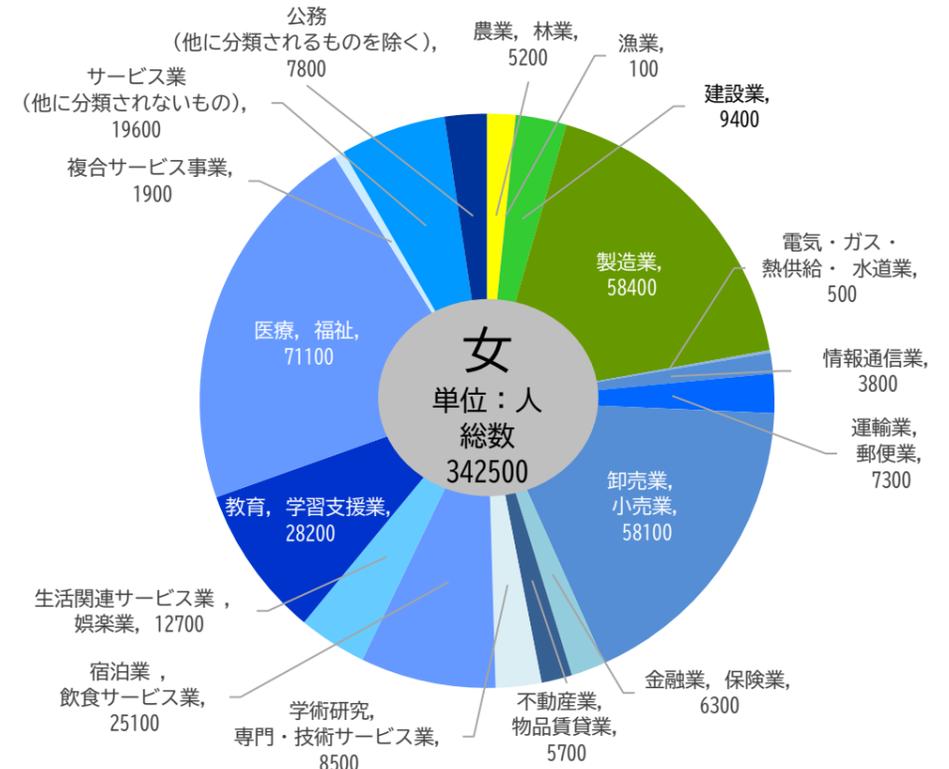
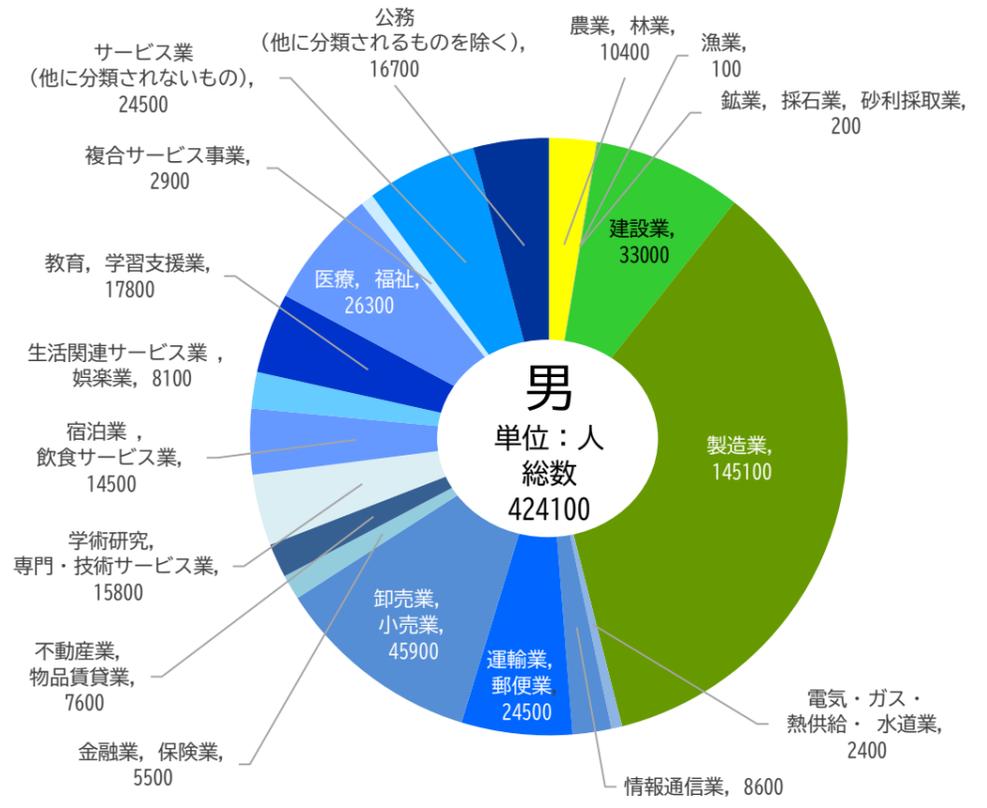


産業別有業者数 (令和4年10月1日現在)

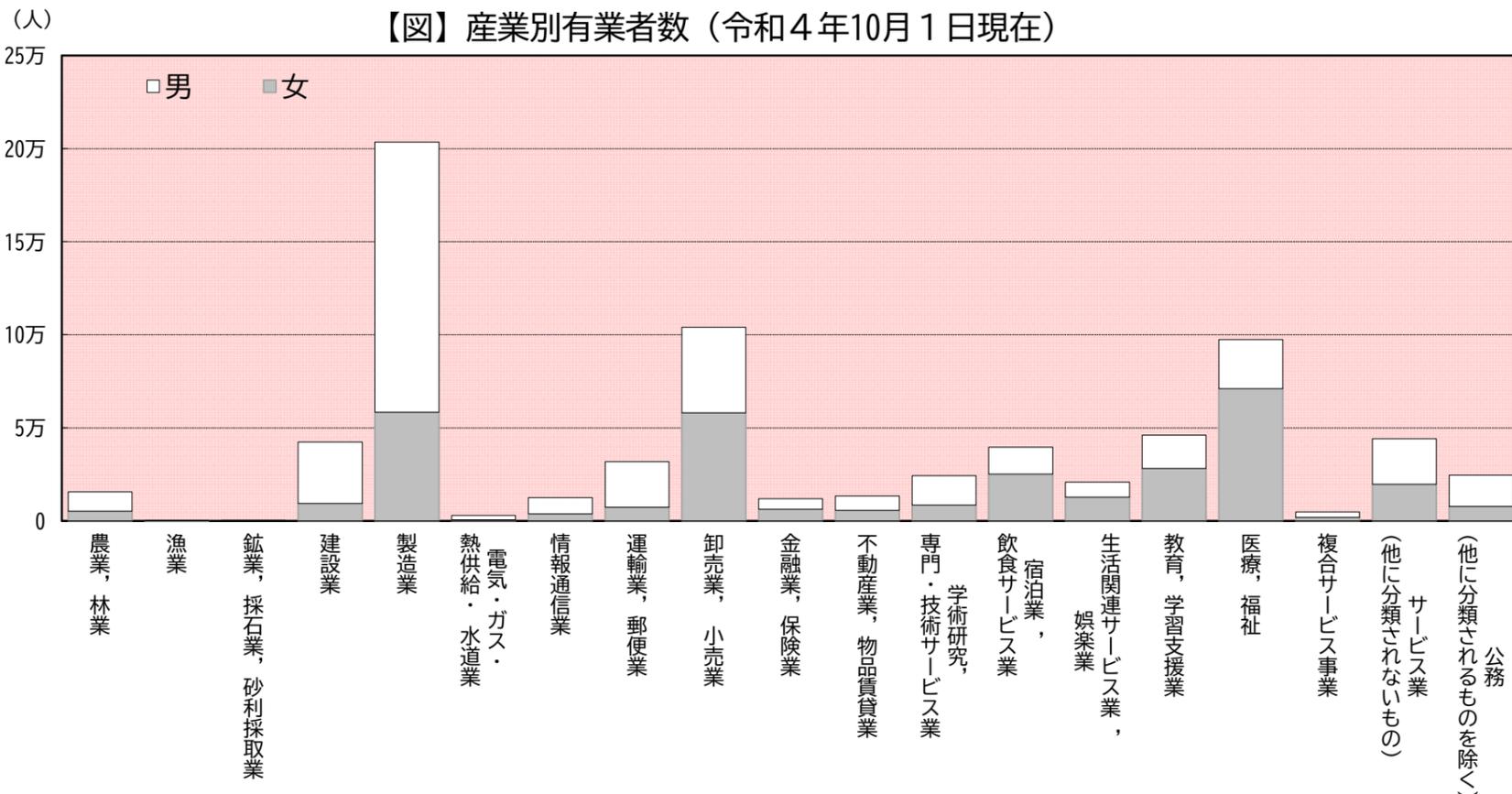
産業	産業分類	総数	男	女
総数	—	766600	424100	342500
農業, 林業	第1次産業	15600	10400	5200
漁業	第1次産業	200	100	100
鉱業, 採石業, 砂利採取業	第2次産業	200	200	—
建設業	第2次産業	42400	33000	9400
製造業	第2次産業	203400	145100	58400
電気・ガス・熱供給・水道業	第3次産業	2900	2400	500
情報通信業	第3次産業	12300	8600	3800
運輸業, 郵便業	第3次産業	31900	24500	7300
卸売業, 小売業	第3次産業	103900	45900	58100
金融業, 保険業	第3次産業	11800	5500	6300
不動産業, 物品賃貸業	第3次産業	13300	7600	5700
学術研究, 専門・技術サービス業	第3次産業	24300	15800	8500
宿泊業, 飲食サービス業	第3次産業	39600	14500	25100
生活関連サービス業, 娯楽業	第3次産業	20700	8100	12700
教育, 学習支援業	第3次産業	45900	17800	28200
医療, 福祉	第3次産業	97400	26300	71100
複合サービス事業	第3次産業	4800	2900	1900
サービス業 (他に分類されないもの)	第3次産業	44100	24500	19600
公務 (他に分類されるものを除く)	第3次産業	24500	16700	7800
分類不能の産業	分類不能の産業	27200	14500	12700



資料：「令和4年就業構造基本調査」 総務省統計局

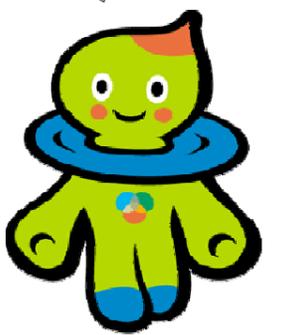
※端数を四捨五入しているため、総数と男女の計は一致しないことがあります。

【図】産業別有業者数 (令和4年10月1日現在)



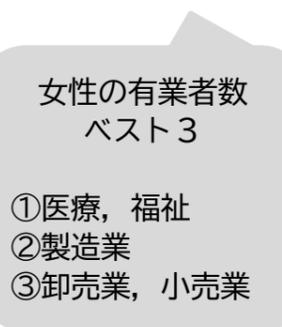
男性の有業者数  
ベスト3

- ①製造業
- ②卸売業, 小売業
- ③建設業



女性の有業者数  
ベスト3

- ①医療, 福祉
- ②製造業
- ③卸売業, 小売業



■就業者割合の移り変わり（産業別）（各年10月1日現在）

産業別就業者の構成比（就業者割合）

（単位：％）

	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
滋賀県 昭和55年 (1980)	11.7	40.0	48.2	0.1
60 (1985)	8.4	41.4	50.1	0.2
平成2 (1990)	5.7	42.4	51.5	0.3
7 (1995)	5.0	40.8	53.8	0.4
12 (2000)	3.5	38.2	57.1	1.2
17 (2005)	3.7	34.1	60.6	1.5
22 (2010)	2.8	32.7	59.4	5.1
27 (2015)	2.6	32.6	61.1	3.6
令和2 (2020)	2.4	31.9	62.5	3.2
全国 令和2 (2020)	3.4	23.0	70.6	3.0

※四捨五入をしているため、割合の合計が100にならないことがあります。

「分類不能の産業」を含んで計算しています。

産業別就業者数

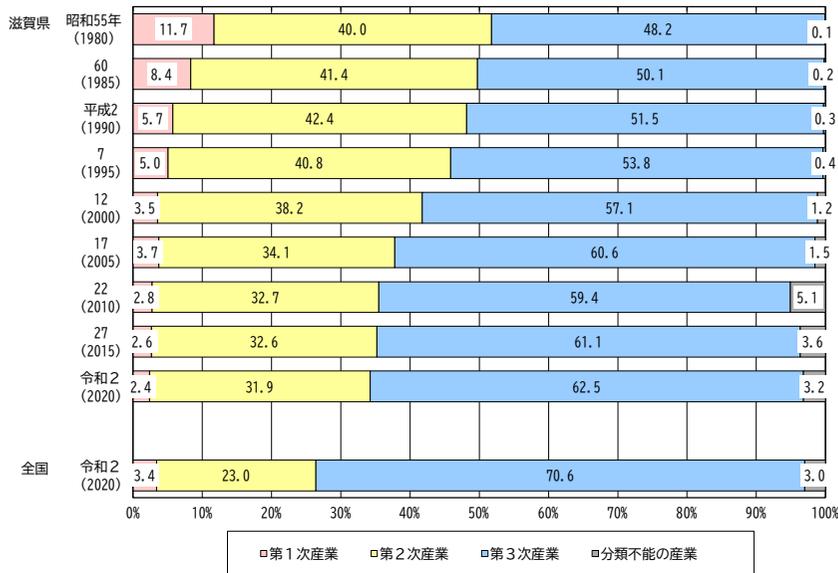
（単位：人）

	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
滋賀県 昭和55年 (1980)	520211	60961	208216	250556	478
60 (1985)	555535	46399	229897	278104	1135
平成2 (1990)	600978	34527	255076	309539	1836
7 (1995)	654947	33047	267257	352168	2475
12 (2000)	671789	23706	256869	383443	7771
17 (2005)	683125	25416	232872	414282	10555
22 (2010)	673612	18548	220587	400229	34248
27 (2015)	677976	17935	220904	414488	24649
令和2 (2020)	666602	15971	212389	416840	21402
全国 令和2 (2020)	57643225	1962762	13259479	40679332	1741652

資料：「国勢調査」総務省統計局

資料：「国勢調査」総務省統計局

【図】 就業者割合の移り変わり（産業別）



令和2年国勢調査による滋賀県の仕事に就いている人の割合を産業別にみると、第1次産業は2.4%、第2次産業は31.9%でした。第3次産業は62.5%で半数以上を占めています。全国の割合と比べると、第2次産業は8.9ポイント高くなっていますが、第3次産業は8.1ポイント低くなっています。

- ※第1次産業…農業・林業・漁業
- 第2次産業…工業・建築業・製造業など
- 第3次産業…商業・運輸通信業・サービス業など

